

# 広瀬市長 3期目就任のご挨拶

今回の市長選挙におきまして、多くの市民の皆様方の温かいご支援を賜り、三たび、下野市政の舵取り役をお任せいただくことになりました。

市民の皆様への負託にしっかりと応えるため、課せられた使命と責任の重さを改めて痛感し、身の引き締まる思いであります。

今回の選挙期間中、多くの市民の皆様への声を直接お聞きすることができましたが、市長就任以来、取り組んできた諸施策が次々と花開き、合併して8年が経過した今、市政の様々な部分において、人や地域間の調和が図られ、下野市という全体像で話をしてくれる市民が増えたように感じられたところであります。

また、民間企業の調査等でも、住みよさなどが全国で上位にランクされ、潜在力の高い市として評価をいただいておりますが、現状に甘んじることなく、今後さらに、子どもからお年寄りまで、全ての市民が「このまちに住んでいることを誇りに感じ、ずっと住み続けたい」と思えるよう「なまち」になるよう、常に市民感



覚を持ち、市民の目線に立った行政運営に心がけてまいります。

さて、3期目となります。これからの4年間は、これまでどおり「無駄をつくらない行政運営」を基本姿勢として、公約に掲げた「未来を見据えた政策」をしっかりと展開しながら、魅力にあふれ、誰もが安心して暮らすことのできる「住みよさ県内ナンバー1 下野」の実現に向けて、全力を傾注してまいります。

具体的には、最小の経費で最大の効果を挙げるため、絶えず行財政改革に取り組みとともに、市民力や地域力を活かした「協働のまちづくり」を積極的に推進してまいります。

また、医療・福祉施策、教育環境

の充実に加え、地域間競争に打ち勝つための施策を展開し、人や企業から選ばれる産業環境づくりを推進してまいります。

さらに、今日の日本社会における「超少子高齢化・人口減少」という問題に鑑み、若い世代の方々为本市を生活拠点として定住してもらえよう、人を呼び込むための新たな支援策を創設するとともに、安心して子どもを産み育てられる生活環境をさらに充実させて、人を増やす施策に力を入れてまいります。

「景観十年、風景百年、風土千年」という言葉がありますが、下野市に

も先人が築き上げた景観、風景、風土が数多く残っており、その上に私たちの生活は成り立っております。

国をはじめ、地方自治体を取り巻く社会経済情勢は依然として厳しい状況にありますが、私は、市民の皆様との対話を重ねながら、共に英知を結集し、私たちの子孫にも素晴らしい郷土（ふるさと）を引き継ぐことができるよう、粉骨砕身、市政運営に取り組んでまいります。

結びに、市民の皆様方には、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。市長就任のごあいさつといたします。



ラジオの取材の様子